

災害時に備えて炊き出し訓練

松浦市地域婦人会連絡協議会

松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が3月2日、災害時の炊き出し訓練や応急的な手当ての方法を学びました。

日本赤十字社長崎県支部が主催したもので、同協議会会員約40人が参加。会員は佐世保市赤十字奉仕団委員からの指導を受けながら、特殊な袋（ハイゼックス袋）を使った、簡単にできる炊飯方法で実際にご飯を炊きました。

榎元会長は「災害はいつ起こるかわかりません。今回の訓練は、家族、地域にためになる意義ある訓練でした」と話していました。



アルミ缶回収金で車いすなどを寄贈

市内全中学校

市内の7つの中学校が3月4日、市福島保健センターや老人福祉施設など福島町内にある4つの施設に車いす2台と歩行器2台を寄贈しました。

市内全中学校では、毎年協力してアルミ缶を回収。その収益金で市内の施設に寄付を行っており、今年は7校で1,770*のアルミ缶を回収しました。この日、福島中学校と志佐中学校の生徒代表が、市福島保健センターを訪れ、各学校のアルミ缶回収の活動成果を紹介し、車いすと歩行器を市職員に手渡しました。



卒業記念に壁画を作成

池田寿禄会・御厨小学校

御厨小学校（中田順子校長）6年生が3月1日、御厨町池田地区の遊歩道沿いの防波堤に卒業記念の壁画を作成しました。

壁画は、御厨小学校と池田寿禄会（小橋川時雄会長）が協力して始めたもので、今年で11年目。この日は、クラスみんなで考えた下絵を基に、高さ約1m、幅約3mの壁画を作成しました。壁画には、明るさ、元気の良さ、仲の良さを表現し、新校舎やひまわり学級の取り組みにちなんでヒマワリの花を描きました。

実行委員の川村亜由美さん、村田美玖さん、金井田結莉加さんは「下絵が全部入らず残念だったけど、楽しい良い思い出になりました」と話していました。



パレードで火災予防をPR

防火パレード

全国一斉「春の火災予防運動（3月1日～7日）」の一環の防火パレードが3月1日、市内全域で行われ、消防団員などが火災予防を呼び掛けました。

この日、調川保育所（梅崎正博所長）前では、同保育所園児たち約30人がパレードを出迎え、消防団員の指導を受けながら「ライターを触ったらダメダメ！」と宣言。「ぼくたちわたしたちは、絶対火遊びはしません」と声をそろえて約束しました。

消防団員たちは、市内をパレードしながら、保育所などで風船を配り、防火を呼び掛けました。



35 団体がグラウンドゴルフで親睦

親善グラウンドゴルフ大会

松浦市社会福祉協議会主催の第5回親善グラウンドゴルフ大会が3月8日、市民運動公園で開催されました。

同大会は、市民の健康増進、ふれあい、友愛などを目的に毎年開催されているものです。

この日は、市内からグラウンドゴルフ愛好者など35団体約280人が参加。各ホールでは、ホールインワンが出ると歓声上がるなど、楽しくプレーしていました。



アイルランドの料理に挑戦

第12回世界のクッキング講座

第12回世界のクッキング講座(松浦市国際親善協会(高橋博之会長)主催)が3月13日、きらきら21で開催されました。

この日は、講師として市のALTのキーラ・ケレハー先生を招き、参加者11人がアイルランドの家庭で一般的に食べられているリークとポテトのスープ、シェパーズ・パイ、ガーリック・ブレッド、アップルとブルーベリーのクランブルの4品に挑戦。調理した後は、アイルランドの味をおいしくいただきました。



市の花「ツバキ」をPR

福島つばき祭り

第38回福島つばき祭り(松浦福島つばき会(佐木茂会長)主催)が3月5日、6日の両日、福島武道館と同武道館前お祭り広場で開催されました。

同祭りは、市の花「ツバキ」をPRしてまちおこしをしようと毎年開催されているものです。

この日は、ツバキの展示や苗の販売、小・中学生の絵画などの展示、つばき油の販売などを実施。同会の会員のほか、つばき娘の末竹静香さん(福島・端、19)と木寺萌美さん(福島・伊万里釜、16)も、来場者を笑顔で出迎えていました。



万が一の災害に備えて

少年消防クラブ合同研修会

少年消防クラブ合同研修会が3月6日、松浦市消防本部で行われました。

同研修会は、子どもたちから防火・防災の意識を養い、災害に直面したとき自分の命は自分で守ることができるように養成するために開催されたものです。

この日は、市内7クラブから約40人の子どもと8人の指導者が参加。市消防本部の職員などが説明や指導を行い、救助訓練見学、ロープ結索訓練、煙体験競技、水消火器訓練・競技、救急隊デモなどを行い、防災に対する知識を深めました。

